

# 協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

newsline

2023/2

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 令和5年 新年賀詞交歓会を開催           | 1   |
| 特集 京都府の労働事情①              | 2~3 |
| 中央会NEWS 企業組合部会 組合運営研究会を開催 | 4   |
| プレスリリースセミナー2022の開催        | 4   |
| 京都府知事・京都市長との懇談会を開催        | 5   |
| 京都青年中央会 第3回CAPサミットを開催     | 6   |
| 京都経済お天気                   | 7   |
| 令和4年分確定申告のお知らせ            | 8   |

## 令和5年 新年賀詞交歓会を開催

1月4日（水）京都ブライトンホテルにおいて、京都経済界のトップを切って京都府中央会新年賀詞交歓会を開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、府内中小企業団体の代表者をはじめ、行政機関、関係機関等の方々約150名が参集し年頭の挨拶を交わしました。

開会にあたり阪口雄次会長は、「WITHコロナ・POSTコロナの新たなかじ取りが求められる中、直面する諸課題を連携や助け合いの力によって解決していきたい」と新年の挨拶を述べました。

続いて、ご来賓を代表して、西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長よりご祝辞を賜った後、新年の門出を祝い、一般社団法人京都銀行協会の土井伸宏会長のご発声により、京都市清酒の普及の促進に関する条例に則り伏見の銘酒で乾杯し、新たな年のスタートを切りました。



阪口会長（開会挨拶）



西脇京都府知事（ご祝辞）



門川京都市長（ご祝辞）



土井京都銀行協会会長（乾杯）



安藤副会長（閉会挨拶）

あの言葉 大人になっても 忘れない わたしを救った「やめよう！」の一言

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

# 京都府の労働事情①

～令和4年度 中小企業労働事情実態調査報告書 要約版～

本会では、京都府内の中小企業の経営状況等を的確に把握するため、中小企業の抱える課題を様々な視座から分析し、各事業主・事業所の個性がいかに発揮される環境整備に資するため、昭和39年より「中小企業労働事情実態調査」を実施しています。

ここでは「令和4年度 中小企業労働事情実態調査報告書」の内容を抜粋し、全2回にわたって紹介します。

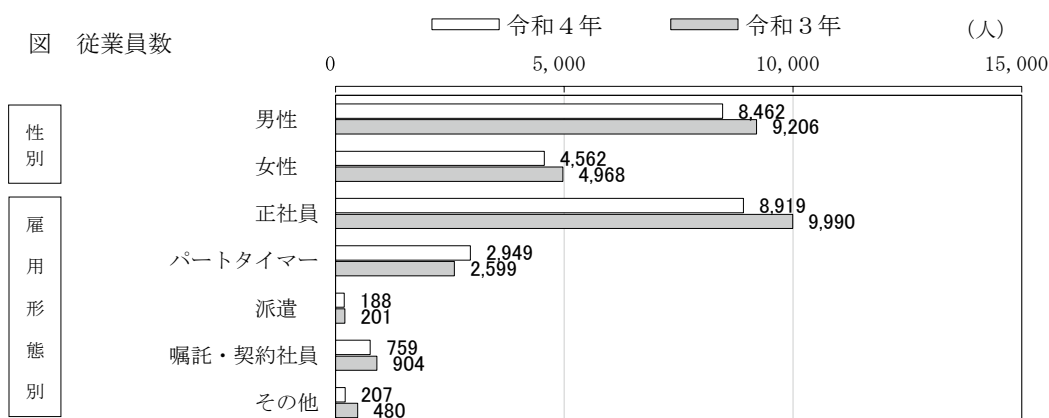
※調査対象事業所数1,300件、回収数486件、回収率37.4%

※令和4年7月1日時点の状況を調査しました。

## 1.従業員数について

### (1) 従業員数の推移

従業員数（京都府計）については、性別では「男性」が8,462人、「女性」が4,562人で、男性は前年度調査に引き続き減少傾向、女性は今年度減少傾向となっている。雇用形態別については、「パートタイマー」は増加傾向、「正社員」「派遣」「嘱託・契約社員」は減少傾向となっている。



### (2) 常用労働者の性別構成

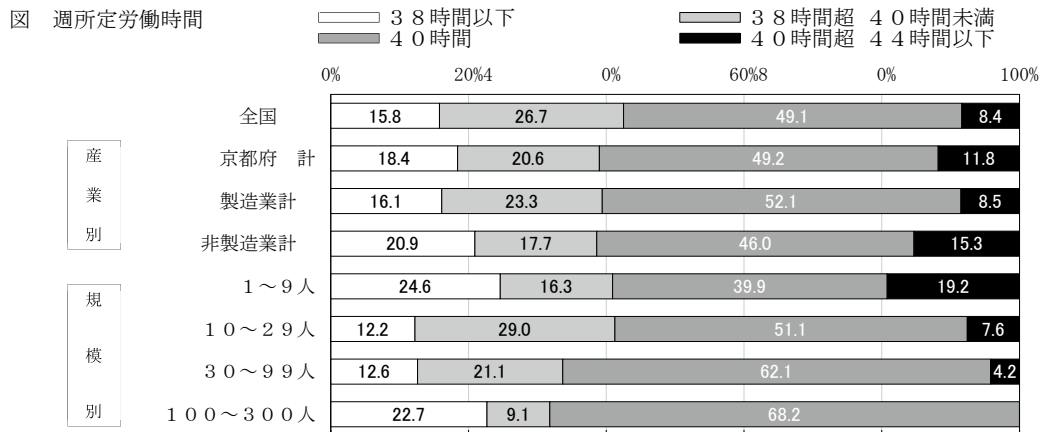
常用労働者の性別構成をみると、京都府計では、男性65.6%に対し女性34.4%で、全国平均と比べ、女性比率が4.3ポイント高い。女性の割合を産業別にみると、製造業（37.3%）が非製造業（30.8%）を6.5ポイント上回る。規模別にみると、「1～9人」「30～99人」「100～300人」の事業所で35%を超えている。

## 2.従業員の労働時間について

### (1) 週所定労働時間

従業員の週所定労働時間をみると、京都府計で「40時間」が49.2%で最も多く、次いで「38時間超～40時間未満」（20.6%）、「38時間以下」（18.4%）、「40時間超～44時間以下」（11.8%）と続き、全国平均と比べ「38時間超～40時間未満」のスコアが6.1ポイント低く、「38時間以下」のスコアが2.6ポイント、「40時間超～44時間以下」のスコアが3.4ポイント高い。産業別で比較すると、製造業では「38時間超～40時間未満」「40時間」のスコアが非製造業より高く、非製造業では「38時間以下」「40時間超～44時間以下」のスコアが製造業より高い。

具体的な業種では、「38時間以下」で、「対個人サービス業」「食料品製造業」のスコアが3割台と高く、「40時間超～44時間以下」では「総合工事業」「職別工事業」「小売業」「対事業所サービス業」が2割台とスコアが高い。規模別では「1～9人」の事業所で「38時間以下」「40時間超～44時間以下」のスコアが他の規模の事業所に比べて高い。



## (2) 月平均残業時間

月平均残業時間は、京都府計で8.3時間と前年度調査より0.4時間多く、全国平均と比べると2.2時間少ない。産業別では、製造業（8.6時間）が非製造業（8.0時間）を0.6時間上回った。具体的な業種では「出版・印刷関連業」（15.2時間）が最も多く、「金属・同製品製造業」「設備工事業」（14.3時間）、「対事業所サービス業」（13.8時間）と続く。規模別では「100～300人」の事業所で残業時間が前年度調査より減少している。

## 3. 従業員の採用について

### (1) 令和3年における従業員採用計画の有無

令和3年度に採用を行った事業所割合は、新卒採用（京都府計：20.3%、全国平均：22.4%）・中途採用（京都府計：37.8%、全国平均47.6%）でそれぞれ全国平均を新卒：2.1ポイント、中途：9.8ポイント下回った。産業別でみると、新卒採用では非製造業（20.6%）が製造業（20.0%）を0.6ポイント上回り、中途採用では製造業（38.3%）が非製造業（37.2%）を1.1ポイント上回っている。具体的な業種では、新卒採用・中途採用ともに「機械器具製造業」（新卒：50.0%、中途65.0%）のスコアが最も高い。規模別では、新卒採用・中途採用ともに大規模事業所ほどスコアが高く、「100～300人」の事業所では新規採用が7割、中途採用が9割を超えている。

### (2) 平均採用人数等

京都府計の平均採用人数を全体的にみると「大学卒（新規学卒者）：事務系」が3.91人で最も多く、次いで「短大・高専卒（新規学卒者）：技術系」2.00人、「大学卒（新規学卒者）：技術系」1.86人と続き、技術系の採用が目立つ。学卒種別16種別中2.00人に達したのは「大学卒（新規学卒者）：事務系」「短大・高専卒（新規学卒者）：技術系」の2種別となっている。

| 項目<br>種別 |      |      | 合 計   |        |        |        | 技 術 系 |        |        |        | 事 務 系 |        |        |        |
|----------|------|------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
|          |      |      | 事業所数  | 採用計画人数 | 採用実績人数 | 平均採用人数 | 事業所数  | 採用計画人数 | 採用実績人数 | 平均採用人数 | 事業所数  | 採用計画人数 | 採用実績人数 | 平均採用人数 |
| 高校卒      | 新規学卒 | 全国   | 1,752 | 4,319  | 3,271  | 1.87   | 1,488 | 3,608  | 2,675  | 1.80   | 368   | 711    | 596    | 1.62   |
|          |      | 京都府計 | 22    | 36     | 31     | 1.41   | 17    | 28     | 23     | 1.35   | 6     | 8      | 8      | 1.33   |
|          | 中途採用 | 全国   | 3,372 | 8,406  | 7,462  | 2.21   | 2,618 | 6,350  | 5,531  | 2.11   | 1,128 | 2,056  | 1,931  | 1.71   |
|          |      | 京都府計 | 58    | 107    | 92     | 1.59   | 46    | 83     | 70     | 1.52   | 16    | 24     | 22     | 1.38   |
| 専門学校卒    | 新規学卒 | 全国   | 613   | 995    | 889    | 1.45   | 501   | 810    | 715    | 1.43   | 125   | 185    | 174    | 1.39   |
|          |      | 京都府計 | 14    | 16     | 16     | 1.14   | 10    | 12     | 12     | 1.20   | 4     | 4      | 4      | 1.00   |
|          | 中途採用 | 全国   | 800   | 1,241  | 1,180  | 1.48   | 521   | 775    | 729    | 1.40   | 316   | 466    | 451    | 1.43   |
|          |      | 京都府計 | 23    | 38     | 34     | 1.48   | 13    | 16     | 16     | 1.23   | 11    | 22     | 18     | 1.64   |
| 短大・高専卒   | 新規学卒 | 全国   | 185   | 259    | 235    | 1.27   | 127   | 172    | 154    | 1.21   | 59    | 87     | 81     | 1.37   |
|          |      | 京都府計 | 3     | 4      | 4      | 1.33   | 1     | 2      | 2      | 2.00   | 2     | 2      | 2      | 1.00   |
|          | 中途採用 | 全国   | 337   | 471    | 448    | 1.33   | 180   | 247    | 232    | 1.29   | 168   | 224    | 216    | 1.29   |
|          |      | 京都府計 | 10    | 14     | 14     | 1.40   | 7     | 9      | 9      | 1.29   | 4     | 5      | 5      | 1.25   |
| 大学卒      | 新規学卒 | 全国   | 1,126 | 2,840  | 2,420  | 2.15   | 807   | 1,825  | 1,521  | 1.88   | 441   | 1,015  | 899    | 2.04   |
|          |      | 京都府計 | 29    | 89     | 84     | 2.90   | 22    | 44     | 41     | 1.86   | 11    | 45     | 43     | 3.91   |
|          | 中途採用 | 全国   | 1,617 | 2,963  | 2,799  | 1.73   | 962   | 1,548  | 1,439  | 1.50   | 805   | 1,415  | 1,360  | 1.69   |
|          |      | 京都府計 | 40    | 68     | 61     | 1.53   | 17    | 29     | 27     | 1.59   | 23    | 39     | 34     | 1.48   |

注）合計の欄の数値は、技術系、事務系両方を採用した事業所の統計数値であり、技術系、事務系の欄の数値はどちらか一方しか採用しなかった事業所も含んだ数値であるため、技術系と事務系の合計は、合計欄の数値と必ずしも一致しない。

## 「企業組合部会 組合運営研究会」を開催

本会企業組合部会（部会長 東和企業組合 重田 和男専務理事）では、令和4年12月1日（木）にホテルモントレ京都にて組合運営研究会を開催し、部会所属の組合役職員・組合員など41名が出席した。

重田部会長より主催者挨拶の後、事務局より令和3年度以降の部会活動報告及び今後の運営について説明。その後、株式会社商工組合中央金庫 常務執行役員兼産業調査部長 本幡 克哉 氏を講師にお招きし、「最近の内外金融経済情勢と中小・小規模企業への影響」と題して講演いただいた。

講演では、昨今の急激な円安は、米国で新型コロナウイルス感染症により抑え込まれていた消費意欲が解放されたりベンジ消費とコロナ禍で仕事を辞めた（早期リタイヤ）人が多く、人手不足になり賃金が上昇していること、そこへウクライナ情勢が重なって極端なインフレがおこり、それを抑えようとして金利を上昇させた結果、ゼロ金利政策を続けている日本との金利差が大きくなったため、これをきっかけとして今回は、円安に大きく振れた。ただし、過去の事例を見ても、必ずしも日米金利差拡大で円安になるわけではなく、むしろ円高になったこともあるので注意が必要であるとされた。

また、中小企業の課題と今後取り組むべきこととして①「値上げ（価格転嫁）」、②「賃上げ」、③「モノ・ヒトへの投資」、④「生産性の向上」を挙げられ、中小企業においては、まずは諸コスト上昇分の価格転嫁、そして、インフレ分をカバーする賃上げが重要とされ、企業がバブル崩壊以降、20年以上に亘る慎重な経営（国内でのモノ・ヒトへの投資や正社員賃金の抑制、低賃金労働への依存）から、支出拡大に転換していくことが必要とされた。

特に人的資本への投資については、今後、DXの進展、AI、IoT（あらゆるものがインターネットにつながること）、ロボットによる自動化等により職種別の人材供給ギャップが拡大し、2030年には事務職で120万人、生産・輸送・建設職で90万人の人材過剰となる一方で、専門技術職では170万人の不足が生じると予測されており、先を見据えた人材教育が必要であるとされた。

講演後に懇親会を開催し、佐藤副部会長が開会挨拶を行った後、10月に株式会社商工組合中央金庫京都支店長に着任された花谷智隆様から挨拶をいただき、本会小山専務理事の乾杯の発声の後、終始和やかな雰囲気の中で歓談交流が行われ、伏見副部会長による中締め挨拶が行われ、盛会裏に閉会した。



開会挨拶（重田部会長）



講師（本幡克哉氏）

## 助け合い隊連携支援事業 プレスリリースセミナー2022の開催について

本会では、令和4年12月9日（金）に京都経済センターにおいて、「プレスリリースセミナー2022」をハイブリッド形式で開催し、会場34名、WEB28名、計62名が参加した。

第一部では、株式会社マジックマイスター・コーポレーション 代表 大谷 芳弘 氏を講師に迎え、広報の基礎からプレスリリース資料作成のコツ、更にはコンセプトマップの作成等、多種多様な資料を基に、実践的なプレスリリースの方法について幅広く説明いただいた。

第二部では、京都府よろず支援拠点 コーディネーター 松尾 憲 氏を講師に迎え、SNS（インスタグラムとLINE公式アカウント）の活用方法について、集客に効果的な機能や既存顧客にアプローチする機能を中心に実用的な講義が行われた。

開催後のアンケートでは、「実績を基にした具体的な内容で非常に分かり易かった。」「今日教えてもらったことを明日からの業務で実践したい。」など、参考になったとの意見が多く聞かれ、参加者にとって有意義な講習会となった。

また、今回のセミナーは、助け合い隊連携支援事業の新たな取り組みとなる「新商品・新サービス合同記者発表会（令和5年3月17日開催予定）」に向けた第1ステップとして実施、今回のセミナーに参加した会員組合または組合員の新商品・新サービス8件について、第一部の講師 大谷 芳弘 氏による伴走支援と手ほどきを受けながら、効果的な広報の仕方を学びつつ、合同記者発表会の本番を迎えます。



第一部



大谷芳弘氏



第二部



松尾憲氏

## 京都府知事・京都市長との懇談会を開催

令和4年12月19日（月）に京都ブライトンホテルにおいて、京都府知事との懇談会を開催、京都府より西脇隆俊知事をはじめ上林秀行商工労働観光部長など幹部が、また阪口雄次会長をはじめ副会長、役員が出席した。

また、翌12月20日（火）には、ホテルオークラ京都において、京都市長との懇談会を開催、京都市からは門川大作市長、石田洋也産業・文化融合戦略監兼産業観光局長をはじめ幹部の方が出席、本会からは阪口雄次会長をはじめ副会長、役員が出席した。

懇談会の冒頭に阪口雄次会長より、西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長に要望書が手渡され、参加者相互の懇談を行った。

京都府・京都市への要望は、重点要望事項及び分野別（業界・組合別）要望事項からなり、重点要望事項では、「中小企業組合並びにその専門支援機関である中央会の機能強化支援」、「複合的な課題への対応が迫られている中小企業・小規模事業者への経営支援策等の強化・拡充」、「中小企業・小規模事業者のデジタル化推進に対する支援強化」、「中小企業・小規模事業者における雇用維持・人材確保と多様な働き方への対応支援」「文化庁の京都移転を契機とした京都経済の活性化」をあげ、府市協調による中小企業支援策のより一層の推進を強く求めるとともに、京都府には「地域産業の支援強化による地域活性化と、交流・連携による京都府全体の均衡ある発展」を、京都市には「観光関連産業への支援強化」をそれぞれ重点要望事項に加えた。また、「助け合い隊」の活動状況について報告し、支援拡充の要請を行った。



西脇京都府知事と阪口会長



門川京都市長と阪口会長

企業の人事担当の  
みなさまへ

当センターでは

# 人材の確保・従業員の再就職を 支援しています。

お気軽にご相談ください

ご利用時間／ 9:00 ～ 17:00  
(土・日・祝日は休業)

※ 登録・相談・紹介等すべて無料です



公益財団法人 産業雇用安定センター 京都事務所

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 623 第 11 長谷ビル 9 階

TEL 075-211-2331

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

産業雇用安定センター

検索

## 第3回CAPサミット 第1回青年部活性化サミットを開催！



### 異業種交流で活性化を！

令和4年12月15日(木)に第3回CAPサミットを開催し、13青年部23名の方に出席いただきました！

今回のCAPサミットでは、まずはお互いを知ろうということで、代表者の皆さまに各青年部の紹介とPRを行っていただき、その後、グループに分かれてPR内容を基に、青年部同士で何か取り組めないか、何か新しいことはできないかについて討議してもらいました。

討議の中では、「LINE等のSNSを活用した青年部間での情報共有」や「それぞれの強みや弱みを互いに補完し合える関係づくり」等、様々なアイデアが出されました。詳細については、次回CAPサミットで発表させていただきます！CAPサミット後は、場所を居酒屋に移して、青年部活性化サミットを初開催！CAPサミットとは異なり、ラフな雰囲気の中で活発に交流いただき、異業種連携での新商品開発や新たな販路開

拓等、ビジネスに直結する取組みについて意見交換が行われました。

今年度は、「会員青年部を活性化させたい！」との山添会長の熱い思いから、積極的な異業種交流やビジネスマッチング等、会員青年部と構成員企業の活性化に寄与する活動に積極的に取り組んでいますので、今年も京都青年中央会の事業に多くの方にご参加いただき、ご理解、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします！



青年部PR



青年部間連携



異業種連携について討議



初開催！青年部活性化サミット



# アイシーエル 人材育成研修

貸し研修室、  
人材派遣も  
承ります

マナー研修

管理職研修

パソコン研修

組合様主催の研修企画など  
お気軽にお問い合わせください♪

中央会特別会員

**ICL**

株式会社アイシーエル

**☎075-708-7253**

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail [training@icl-web.co.jp](mailto:training@icl-web.co.jp)

〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 10F

詳細・お申し込みは Web サイトへ

アイシーエル 検索

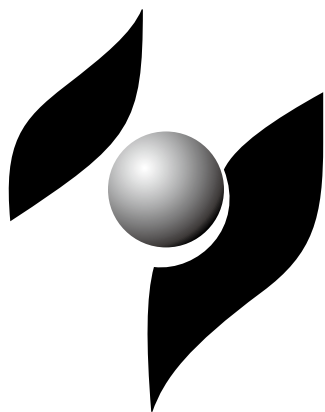
営業時間 9時～18時(土・日・祝日は休業)

## ■一部で活発な動きが見られるも、先行き不透明

|                                                                                                                                                                                                           | 業界景況天気図                                                                                                                                                                           | 概 況                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全 体                                                                                                                                                                                                       | 11月 → 12月<br>   | 前月同様に、全国旅行支援や入国規制の緩和等により、旅行需要を中心に観光関連産業では活発な動きが見られる。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高騰、苦慮する価格転嫁、人手不足など、経営環境に不安材料が山積している中、更なる原材料価格の値上げや、新型コロナウイルス流行の「第8波」の影響が懸念されており、先行き不透明な状況が続いている。           |
| 製造業<br><br>11月<br><br>↓<br>12月<br>      | 繊維工業<br>        | 人流の回復により諸催事は行われているものの、和装関係では新型コロナウイルス感染症の流行以前のような需要回復には至っていない。このため、在庫を抱えづらい問屋筋からの発注は取引価格が抑制されるとともに、多品目少量化、また、納期の短期化傾向が進んでいる。                                                      |
|                                                                                                                                                                                                           | 出版・印刷<br>       | 新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響により、売上の減少、資機材の調達困難など厳しい経営環境が続いている。また、原材料価格の高騰、特に用紙の値上げに苦慮している。                                                                                             |
|                                                                                                                                                                                                           | 鉄鋼・金属<br>       | 中小製造業は依然として厳しい状況である。特に自動車関連は、カーメーカーの停滞で売上は下降し受注も減少している。材料価格の高騰などでのコストアップが要因の一つでもあるが、業界全体の構造的不況が本質的原因であると思われる。新しいビジネスモデルへの転換を考える必要があると訴える企業もある。                                    |
|                                                                                                                                                                                                           | 一般機械等<br>       | 受注は増加、操業負荷は上昇しているが人員対応に苦慮している。原材料の高騰は継続しており、取引先との価格転嫁協議に注力している。コロナ禍において、非対面で行われていた事業活動の多くが対面による活動に戻り始めてきた。                                                                        |
|                                                                                                                                                                                                           | その他製造業<br>  | 紙製容器製造業では、11月からは一転し、段ボール、印刷箱、貼箱の全業種が好調へと転化した。全国旅行支援やインバウンドの回復、年末商戦などにより、コロナ禍前の水準近くまで回復したものと分析される。パン・菓子製造業では、販売価格は少しは上げられたが、それ以上に原材料価格や物流経費の上昇、人手不足による人件費の上昇により収益を圧迫し、利益が出ない状態にある。 |
| 非製造業<br><br>11月<br><br>↓<br>12月<br> | 卸 売<br>     | 飲食料品卸売業では、依然高値の影響により取扱数量は減少している。12月中旬の天候不良により入荷される量も少なく、価格高騰と相まって実質の売上は昨年12月よりかなり落ち込んでいる。繊維・衣服等卸売業では、コロナ禍の行動制限緩和により旅行消費が活発化したことや、原材料高に起因して商品価格の値上げが続いたこと等から全般的に売上が減少している。         |
|                                                                                                                                                                                                           | 小 売<br>     | 家電小売業では、例年地域店では歳末の売り出しを行っていたが、本年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で店舗への来店も減り、商品価格の値上げも多少の影響があったためか、以前のような年末需要の盛り上げが見られなかった。                                                                        |
|                                                                                                                                                                                                           | 商店街<br>     | 師走に入って再び新型コロナウイルス感染者が増えてきたが、従来の規制は全くされず、人通りも次第に増え外国人観光客も目に見えて目立つようになってきた。各店舗も前年に比べると売上は増えているが、まだまだコロナ禍前とは程遠いようである。                                                                |
|                                                                                                                                                                                                           | サービス<br>    | 旅館・ホテル業では、10月11日から始まった全国旅行支援の影響は大きく、京都市内全般に稼働は良かったようだ。宴会に関しては、開催件数も徐々に増えているようだ。宴会の形式にも変化が見られ、立食パーティーはほとんどなくなった。また、和風旅館等では、家族単位は別として一つの鍋を数人で突く形も少なくなっているようだ。                       |
|                                                                                                                                                                                                           | 建 設<br>     | ウッドショックで高騰した木材関係は、一部の材料で値段が若干下がる等、少し落ち着きを見せている。民間需要は依然として停滞している。各種資材の値上がり分を見積りなどに転嫁しにくい等、採算性の確保は依然厳しい状況である。                                                                       |
|                                                                                                                                                                                                           | 運 輸<br>     | 新型コロナウイルス流行の「第8波」かと言われる中、タクシーの売上（稼働車輛ベース）は予想を上回った。しかし、全体的な売上は乗務員不足が大きく足を引っ張っており、コロナ禍前のほぼ8割でしかない状況が続いている。組合員の中での変化は、乗客のアプリによる受注配車が各段に伸びている点である。                                    |

|                                                                                                 |                                                                                                |                                                                                                    |                                                                                                  |                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|  快晴 DI値 40以上 |  晴れ 20~40未満 |  くもり 20未満~△20未満 |  小雨 △20~△40未満 |  雨 △40以上 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|

※DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、好転（増加・上昇）したとする割合から、悪化（減少・低下）したとする割合を差し引いた値です。



人を思う。未来を思う。

# 商工中金

新型定期預金

## マイハーベスト

### 有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）  
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

### 1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせて好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上 1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭のチラシまたは ホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

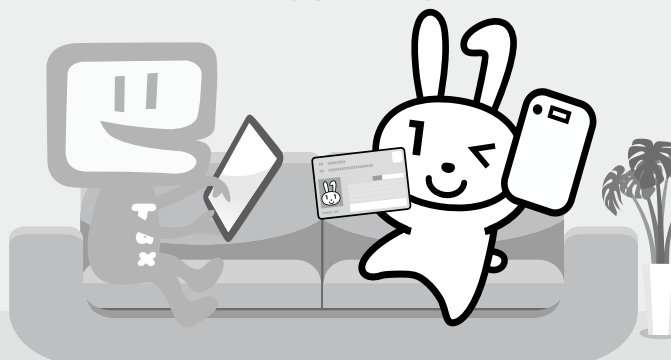
# 商工中金

令和4年分

# 確定申告

自宅からスマホ・PCと  
マイナンバーカードでe-Tax

1年分の医療費の情報が  
マイナポータル連携で自動入力できます



詳しくは **確定申告**

検索

国税庁

なが——い、おつきあい。

事業資金ニーズに応える豊富なメニュー

**資金調達**

企業の資本政策・成長戦略をサポート

**事業承継・M&A**

ビジネスパートナーをご紹介します

**ビジネスマッチング**

海外でのビジネスをサポート

**貿易・海外取引**



京都銀行はさまざまな  
シーンで皆様を応援します！

◀詳しくはこちらをご覧ください

飾らない銀行

**京都銀行**

月刊中小企業連携組織活性化情報 **協同**

2/2023 令和5年2月10日発行 通巻914号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

☎ 075-708-3701 FAX 075-708-3725

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail [web@chuokai-kyoto.or.jp](mailto:web@chuokai-kyoto.or.jp)



表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を  
付した12色を創作したうちの「柴漬け色」です。